

効果設定を変える

設定を変えることで、いろいろな演出をすることができます。



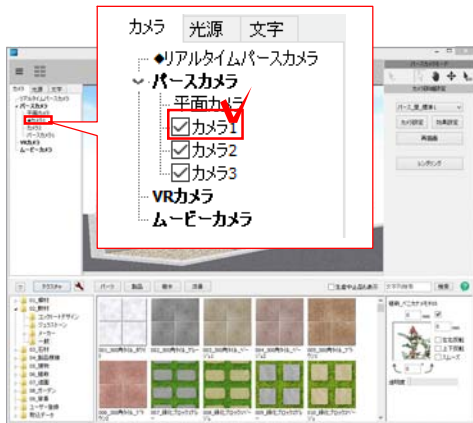
設定1 簡易設定

あらかじめ用意された設定一覧から選択します。



設定2 手動設定

各効果の設定を変更して、オリジナルの設定をすることができます。

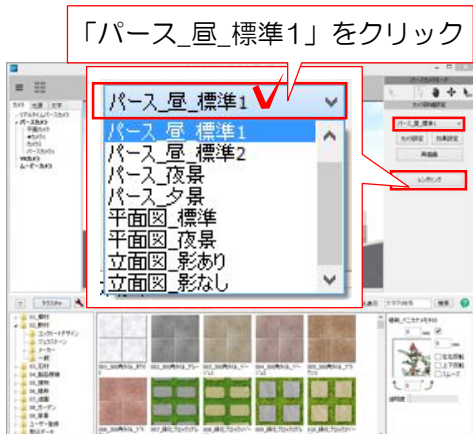


1 簡易設定

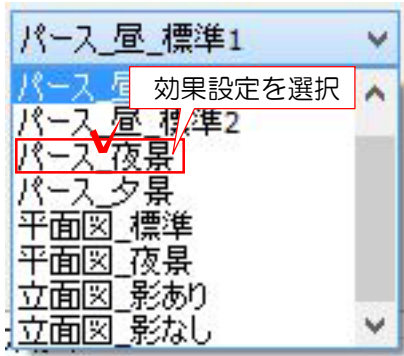
初期設定にいくつかの設定が登録されています。リアルタイムパース画面右上の「設定」で選択します。

1-1 画面左上「パースカメラ」の「カメラ1」をクリックします。

1-2 画面右上「カメラ詳細設定」の「パース_昼_標準1」をクリックします。



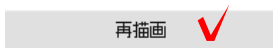
効果設定一覧が表示されます。



1-3 一覧から使用したい効果設定をクリックします。



選択した効果設定が表示されます。

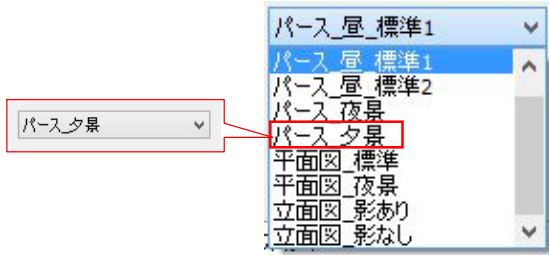


1-4 「再描画」をクリックすると効果が反映します。

効果設定を変えることで簡単に昼・夕方・夜・平面図用の設定をすることができます。



💡【夕景カメラにしたときは・・・】



「夕景パース」を選択した時に背景が夕景ではないテクスチャや背景が白色のことがあります。



「夕景パース」は背景設定が「テクスチャ」になっているので、背景に夕景のテクスチャを貼ることで夕景らしい絵になります。



リアルタイムパース画面左下の「レンダリング」→「背景」を選択し、「空37」を背景へドラッグします。



背景が入って夕景らしくなります。

【効果設定の初期設定一覧】

リアルタイムパース 効果設定の初期設定一覧です。



パース_昼_標準1

初期設定はこの効果設定です。
SPファインダーがオンの設定です。
影が柔らかい印象です。

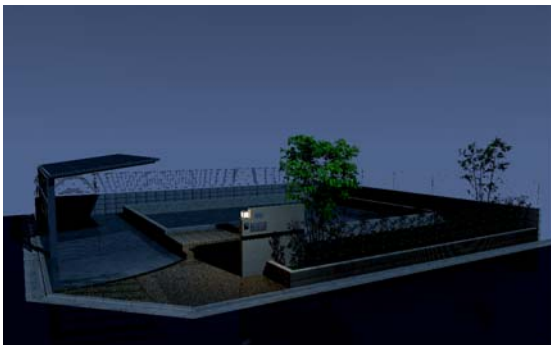


パース_昼_標準2

SPファインダーがオフの設定です。
はっきりしたイメージです。



参考 [SPファインダー]を検索



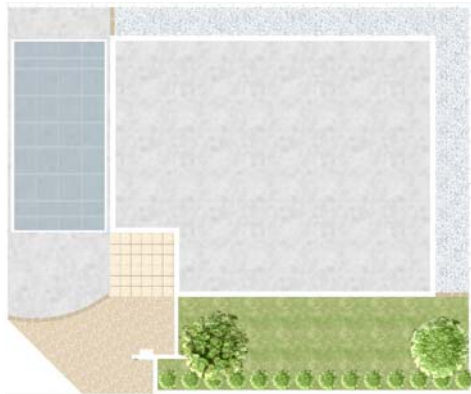
パース_夜景

夜景は平面図上で配置した照明（光源のマークが付いているもののみ）が自動点灯します

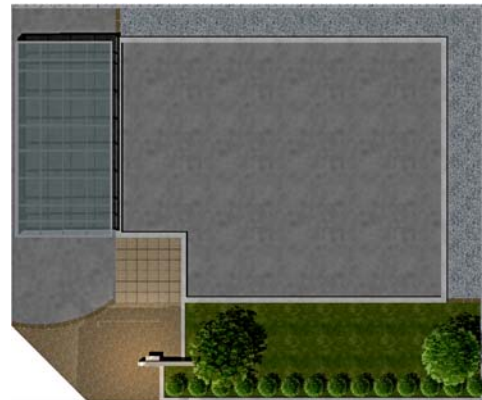


パース_夕景

夕景は背景にテクスチャを使用しています。
前ページ「夕景カメラにしたときは」参照。



平面図_標準



平面図_夜景



立面図_影あり



立面図_影なし

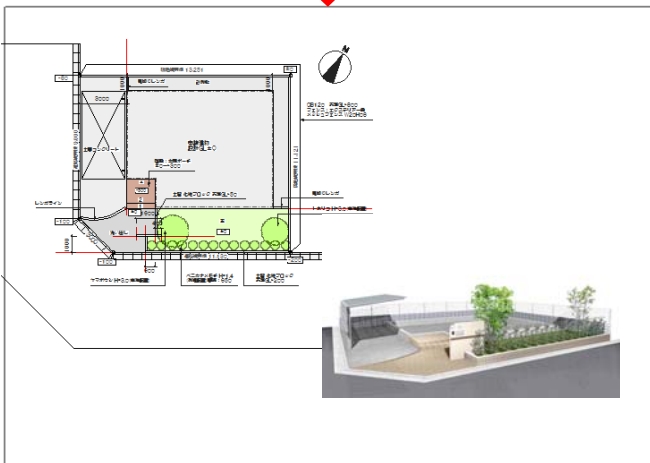
※名称や設定は予告なく変更になる場合がございます。

画像をCADに貼る

リアルタイムパースで作ったパースをCAD平面図上へ貼りつけます。



リアルタイムパースで角度やテクスチャを調整したパースをCAD平面図上に貼りつけます。

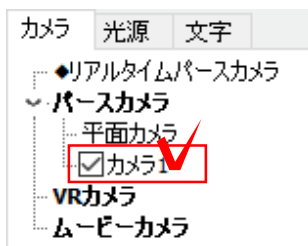


カメラが複数ある時は、各カメラごとに作業をします。

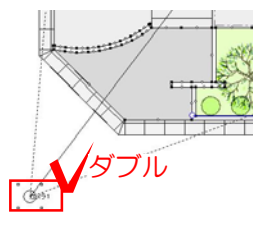


ここではカメラ1とカメラ2でパースを、カメラ3で立面図を作成します。

方法1



方法2



1 カメラを選択

1-1 パースカメラを選択します

方法1：リアルタイムパース画面左上のカメラ1を選択します。

方法2：平面のカメラ1をダブルクリックします。

1-2 カメラを選択したら「再描画」をクリックします。



効果設定が反映されて表示されます。